

# 株式会社武田鉄工所

北海道帯広市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

“より良く・より早く・より安く”

北海道から環境保全に貢献する“小粒でも足腰の強い会社”

- 豊富な未活用地域資源（農業廃棄物系燃料）を独自のバーナユニットで安定燃焼、温風熱供給を実現
- 独自の回転炉作動制御、温風技術で旋回流安定燃焼を可能に。小型ユニット化により可動、多用途化
- 環境・エネルギー分野の新事業に有望な人材を登用。研究機関との連携を進め、短期間で開発に成功

## 企業基本情報

所在地	北海道帯広市西3条南37丁目1番地
電話/FAX	0155-48-2858/0155-48-8378
URL	<a href="http://www.h-kogyokai.com/members/566.html">http://www.h-kogyokai.com/members/566.html</a>
代表者	代表取締役 米田 悠瀨
設立	1952年
資本金	1,000万円
従業員数	20人



## 会社概要

創業1952年、主に大型機械整備・大型土木架台製作設置など一般産業機械の製作、整備、修繕工事等を行う。地域を支える大手企業工場の長年のメンテナンス業務の実績に加え、2010年より、環境・エネルギー分野の新規事業を展開。木質から農業残渣など地域の多種多様な未活用資源を利用した燃料に対応できる高性能バイオマス燃焼機の開発、商品化を行いながら、北海道から地球温暖化防止・循環型社会形成・地域活性化への貢献を目指している。



会社外観

## 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

### 農業残渣利用に新型バイオマスバーナで活路を拓く

酪農と並び大豆、小豆、じゃがいも、甜菜（ビート）など日本の畑作の代表的な中心地十勝では大量の農業廃棄物が排出される。これらは難燃性の灰分が多く、クリンカが発生しやすく燃焼が難しいバイオマスである。

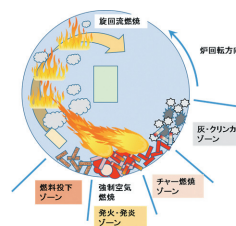
これまでのバイオマスバーナでは燃焼が難しかったが、独自の回転炉燃焼技術を開発し、農業廃棄物系燃料の利用に活路を拓いた。農業用ハウスへの温風供給などエネルギーの地産地消を可能にした。



バイオマス燃焼用温風式熱供給装置

### 難燃性の農業廃棄物系燃料のクリーンな安定燃焼法を実現

廃棄物系バイオマス燃料は灰分が多く発熱量が小さいという特徴があり、従来のバイオマスバーナでの燃焼は困難である。回転炉により旋回流燃焼を実現する独自の回転炉動作制御と送風技術の開発により、クリーンで安定的な燃焼が可能になった。炉内にクリンカが付着することもなく灰とともに自動排出される。さらに小型化、ユニット化することにより移動性の向上、用途の多様化を図っている。



独自の回転炉燃焼技術

### 時代を見越して環境保全に役立つ新規事業展開へ果敢に挑戦

将来の発展を図るため、環境・エネルギー分野の新規事業を担う人材を登用した。これまでの一般産業機械の製作、整備、修繕工事等、比較的受け身の事業に対し、新たに付加価値を生み出す創造的な事業を加えることで、ものづくりの現場は相互に刺激し合い活力を生み出している。新事業の展開により連携が促進され研究機関等との人材交流が生まれ、労働集約的な事業から資本集約、知的集約的的事业への転換を図っている。



少数精鋭の技術集団

生産性向上

需要獲得

担い手確保